

動物用医薬品副作用症例報告 (平成17年11月分)

薬事法第77条4の2に基づく動物用医薬品副作用症例報告を次のとおり掲載する。

| 医薬品の名称 (製造(輸入)業者名) | 副作用発現動物 | | | | | | 副作用等発現の概要及び転帰 | | | | | | | |
|---|--------------|---|-----|--------------|---------------|-----|---|------------|-------------|-----|-----------------|---|-------|--|
| | 種類 | 性 | 年齢等 | 投与前の健康状態・疾患等 | 関連医薬品の投与歴等 | 既往歴 | 副作用歴 | 投与量・投与方法 | 投与年月日 | 併用薬 | 副作用発現年月日(投与後時間) | 副作用等の種類 | 講じた処置 | 転帰 |
| “京都微研” キャナイン-8 (ジステンパー・犬アデノウイルス(2型)感染症・犬パラインフルエンザ・犬パルボウイルス感染症・犬レプトスピラ病(カニコーラ・コペンハーゲニー・ヘブドマディス)混合ワクチン) 株式会社微生物化学研究所 製造番号：60-2 | 犬 トイ・プードル | 雄 | 1歳 | 健康 | 脂肪織炎治療のため抗生物質 | なし | 予防接種投与部位の脂肪織炎(平成16年11月接種・5種混合ワクチン・メーカー不明) | 1ml/頭、皮下注射 | 平成17年11月14日 | なし | 平成17年11月14日 | 虚脱、嘔吐接種後、10分で虚脱。そして嘔吐。可視粘膜蒼白、CRT1.5秒及び股動脈圧触知可能だが弱い。 | 無処置 | 治療(プレドニゾン2mg/kg sc アドレナリン0.01mg/kg iv) |
| <p>《企業の意見及び対応》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当獣医師：接種直後に発症。併用薬は無し。投与以前及び後に類似の症状の発症はない。以上より症状発現直前に接種した薬剤との因果関係を強く疑う。 ・企業：ワクチン注射10分後に虚脱、嘔吐、可視粘膜蒼白を呈したことから、ワクチンによるアレルギー反応が考えられる。添付文書の「対象動物に対する注意」には、副反応欄としてアレルギー反応またはアナフィラキシー反応を起こすことがある旨記載し、注意を促しているところである。今回の場合、獣医師の適切な処置が功を奏した例と考えられる。 ・対応：今後とも安全性及び副作用に関する情報について、より注意深く情報を収集するように努める。 | | | | | | | | | | | | | | |

家畜衛生週報 (No. 2919) より